

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

		分掌名(図書部)	記載者 江幡 佐和子	
重点目標	1 図書館の整備と資料の充実に努め、メディアセンターとして生徒の主体的な学習活動を支援する。 2 図書館利用の活性化を図り、読書・学習活動を推進する。			
具体的な計画	1各教科・分掌との連携を図り、図書館運営を円滑に進める。 2学校図書館活性化モデル校(キャリア教育型)として更なる実践研究を行う。 3生徒会図書委員会の活動を充実させ、図書館利用を促進する。 4図書館の地域開放のあり方を再考し、さらなる地域貢献に努める。			
具体的な取組状況	前期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生に向けた図書館オリエンテーションの実施により1年生の図書館利用を促すことができた。授業での利用に関しては、後期に期待したい。 ・各教科・学年から、各教科や課題研究、進路に関連する本について意見を募り、図書購入の参考にすることができた。後期は、実際の小論文指導や課題研究の活動を通じて、生徒からの声も参考に必要図書を選定していきたい。 ・POPコンクールの実施により1、2年生が本に触れる機会を設定した。生徒の読書傾向を知り、利用促進につなげたい。 ・コロナ禍の影響によるためか、一般の方の利用はまだ少ない。図書館だよりの発行やホームページの更新により、さらに地域の方々への広報に努めたい。 		総合評価
	後期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の国語や2年生の総合的な探究の時間において一部活用の機会があったが、全学年を通じての活用機会は十分とは言えない。調べ学習の際、タブレットによる検索が主になりがちだが、書籍とネット媒体双方の利点と弱点をふまえながら、メディアリテラシーを育てていく必要性も訴えていきたい。 ・各教科・学年から意見を募り、小論文や面接対策、課題研究に必要な本の傾向をある程度はふまえることができた。活動が始まってから突発的に必要が見えてきた図書に関しては県立図書館のセット貸出等を利用して対応したが、生徒の動向は年度により異なるため、次年度以降も意見を参考にしていきたい。 ・読書感想文コンクール中央支部審査会は図書部の協力で無事実施できた。 ・図書委員会で館内掲示や館報の企画会議、生徒アンケート等を行った。生徒の読書傾向や活用推進の手がかりをつかみ、利用を促していきたい。 ・一般の貸出利用率はまだ回復していない。図書館だよりの発行やホームページの更新により、今後も広報に努めていきたい。 		B
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・情報・読書センターとしての機能充実を図ること。 ・授業での図書館活用推進と授業外での貸出利用を推進していくこと。 	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の資料の見直しに加え、需要のある分野の資料を選定し活用促進につなげたい。 ・授業や課題研究の調査で活用しやすいように館内のwi-fi環境早期実現をお願いしたい。 	